

科名 泌尿器科  
 対象疾患名 進行又は転移腎細胞癌  
 プロトコール名 バベンチオ+インライタ

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	...	14
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓						
2	点滴注	側管	アセリオ	500mg	15分かけて	↓						
3	点滴注	側管	ネオレストール	10mg	15分かけて	↓						
			生食	50mL								
4	点滴注	側管	バベンチオ	10mg/kg	60分かけて	↓						
			生食	250mL								
			インライタ	1回5mgを1日2回経口投与		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

★1クール＝14日

～MEMO～

催吐レベル2(10%以上30%未満)

作用機序から他の免疫チェックポイント阻害剤(オプジーボなど)に比べてインフュージョンリアクションが多いため注意すること。

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

生ワクチン、弱毒生ワクチン、不活化ワクチンとの併用により本剤のT細胞活性化作用による過度の免疫反応が  
 起こる恐れがあるので併用には注意すること。